

同窓会誌

第7号

沼津工業高等専門学校同窓会

昭和52年

目 次

会誌第7号によせて.....	2
随 想.....	4
職 場 だ よ り.....	6
国産電機・東洋電産.....	6
第15回東海地区高専大会報告.....	7
座談会「就職に対する心構え」.....	9
同窓会誌によせて.....	10
教 官.....	10
会 員.....	18
慶 弔 報 告.....	28
告 知 板.....	29
名簿担当理事.....	29
原稿募集PR.....	31
お わ び.....	32
編 集 後 記.....	32

会誌第7号によせて



会長 白井 一夫

会長を引継いで一年が経ちました。理事経験もなく会長をいきなりやらされた私は一期生の顔でなんとかこなしてきたという感じがします。

名簿発行、会誌、だよりの発行そして総会開催etc. となかなか忙しく月2～3回仕事を終えてから行なう理事会は10時～11時になってしまうのが常でした。

それまでどちらかといえば無感心であった私には傍観者の利己主義というものを大いに反省させられました。

同窓会もこの11年間創成期、沈滞期、復活期、定着期へと短いながらもいろいろあったように思います。しかしながら専従者を置くまではいつでも沈滞、停滞に逆戻りする状態といってしまうでしょう。

現在の構成は

会員数	1,465名
名誉会長(学校長)	1名
会長	1名
副会長	1名
事務長	1名
理事	42名
監事	2名
顧問	9名

となっております。

会誌6号の冒頭、課題としてあげました(A)、(B)、(C)の各項は今もって課題のままです。つまり(A)財源の確保、(B)支部結成の推進、(C)理事負担の軽減。しかしながらこれらは将来会員数も増え、同窓会活動も年を経ると共に解消されていくことと思います。

さて、私自身高専を出て11年目になった訳ですが、この学校を出て良かったか悪かったか今だにわかりません。同級生が一期校あたりに進学している現実、もちろん彼らには彼らなりの努力をしたと思います。しかし我々の多くの仲間も彼らと同等あるいはそれ以上の力を持っていた人が多かったのではないのでしょうか。今は3人に1人は学卒という世の中になりました。今思うに高専というのは高度成長経済により企業の要請によりできた新しい制度だったということがよくわかります(実は私は前から感じていた)。高度化した技術に対応して企業内で卒先してそれをこ

なせる人が必要となったわけです。皮肉なことに最近では見かけ上生活程度が向上し、また学歴社会を反映し高学歴社会となった今、特に高専卒を求めなくとも官僚のルールに乗れない一般の学卒の人達がそれらを受けもつことになってきました。もちろん高専も毎年卒業生を送り出しています。高専卒も大学卒も同じ目的で採用されていることになります。で、給金といえばズバ抜けて優秀でもなりかぎり当然学卒の方が良いのは現在の世の中では至極当たり前。

私は戦後生まれで、戦前、戦中のことはよくわかりませんが、高専設立の思想は予科練創設の考えと同じように思えてくるのです。いわゆる甲種予科練です。最初は飛行機に乗るための優秀な若者が集まったがそのうちに戦争も末期的症状を呈してくると飛行機に乗るつもりで入隊した者もその意志にかかわらず回天攻撃隊として魚雷を運転することになる。乙種、丙種予科練です。

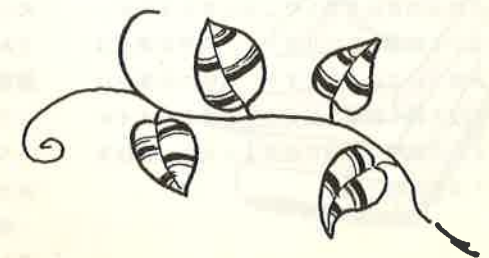
私は今学歴にコンプレックスを感じて言っているのではなく、実に客観的に醒めた気持ちからちょっとオーバーに言っているに過ぎないのです。学卒だって高専卒以下の者は沢山います。高卒だって優秀な人はいっぱいいます。だからどうする。ここが大切だと思います。だから努力するしかありません。卒業生全員危機感を持って人格そして技術共に筋の通った人になるように切磋琢磨せねばなりません。

我々だけの努力ではだめです。教官の方々にもなお一層の努力をお願いしたいと思います。若い人達を将来伸ばすような教育をしてもらいたいと思います。少なくとも高校と大学をたして2で割ったようなものであってはいけないと思います。例えばあるテーマ、問題を解決する過程を重視するやり方……とか……教官方の努力、それでもまだ足りません。世間に対するアピールがもっと必要ではないでしょうか？ 政府、財界、報道関係etc. マスコミの高専に対する評価はあまり良いとは思えません。もっとも高専とは(我々の意志に反し)単なる特殊学校と理解されているのかもしれない。

つまり高専を自他共にもっと良くするには先輩達(学生達)はもっと自己研磨し、現教職員方ももっと努力して頂き、さらに対外的にも高専全体として働きかけて頂く。この三位一体があと10年は続けられなければその時こそ本当に意義を問われる時と思われてなりません。

会誌7号の冒頭からつまらないこと余計なことを書いて申訳ありません。あと半年余で老兵は消え去りますのであしからず。

〒419-01 静岡県田方郡函南町間宮828



随 想

学校長 樋 口 泉

1 毎年堅苦しいことだけを書いて来たので、今年は少し軟らかいことを書いてみます。

新任校長と思っているうちに既に4ヶ年近々になり、全校長の中で、古さでは中ほどになりました。

私は学生々活6ヶ年を含めて東北大学に34ヶ年、静岡大学に10ヶ年いましたから、あわせて44ヶ年、これまでの人生のほぼ $\frac{2}{3}$ を大学で過したことになります。したがって着任以来高専教育というものの勉強から始めました。(a)高専の卒業生は社会でどう評価されているか、(b)将来はどうなるであろうか、(c)技術科学大学設立が高専教育に及ぼす意義等について考えた結果を本誌4・5・6号で述べたわけです。

生来引受けた任務は理想をもって完遂しようというタイプの人間ですから、これからは(b)で述べた高専教育の特徴を本校教育で充分に生かすよう努めたいと思っています。

2. 本校の入試成績

最近が高専入試の問題が適切であったかどうかを見るために半数くらいの学校と、各校10数分の1の答案を選んで、入試の成績結果の検討がなされているのですが、昨年度も本年度も本校の成績は極めて良好で、全高専の中でトップクラスということが出来ます。中学からの内申書を通して大部分はいわゆる良質な学生が本校を志望し、その中の上位のものが合格していることは本校自身の調査検討で前からわかっていたのですが、昨年から他校との比較ができて興味深く思いました。この傾向は年によって著しくは変わりませんが同窓生の諸君のときもそうであったと推定してもよいと思います。

優秀な学生を迎え入れて、更に立派にすることができれば学校がその社会的責任を果たしたことになりますが、同窓生の諸君はどう御感じになりますか。高専卒業生は社会的に高く評価されているのですが、本校の卒業生は資質的に見て一段と高く評価されてよい筈でありますから、各位それぞれの職場で信頼されるよう大いに自信をもって努力して頂きたいと思う。

3. 学歴社会

いわゆる学歴社会変化のきざしが種々の面で現われて

いることが、マスコミにも度々報ぜられていますが、いわゆる年功序列制と結びついているので、そう速やかに崩壊しないであろうという論議もあります。しかし同年代の青年の中の30-40%が高等教育を受けるようになると、単なる大学卒ということが特別な意味がなくなります。社会の変化というのは、このような重要な客観的条件の変化によって起きるのが普通ですから、これからは変らざるを得ないのではないのでしょうか。また技術系でいえば、いわゆる実力=専門的能力とともにバイタリティー、魅力のある人間性(抱合力、協調性、持久力等)が最も評価されやすい環境にあります。それは近代企業は合理性を追求することによって営まれますから、日本の社会機構の中では最も因習から独立しやすいからであります。

学歴社会のために悩まされているという声も度々聞かされていますが、現在の同窓生の諸君は、一方ではまた高専卒という学歴を背負っていることになります。なぜならば高専という何十倍かの同僚もいる筈だからです。したがって望むらくは、学歴に安住することなく、実力を高めるよう自信をもって不断の努力を続けることが大切かと思えます。

4. 人物評価

学校は勤惰等は考慮に入れるが、主として学力で学生を評価するのが普通であるが、社会では前述のように学力とともに人物評価に重点をおいた総合力、実力で人物評価が行なわれるようである。

学校の秀才が必ずしも社会の評価に耐えなかったり、学校で成績が悪くとも社会に出てからは重要な責任を分担したり、いわゆる成功者になる例も少なくはありません、とすると学校の評価法はどんな意味があるのでしょうか。過去の実績に徴すると専門で優秀な成績を収めた諸君は、専門を通して立派な個性を形成した場合は多かったように思う。これが学校では学力を重視した根拠であろうと思う。しかしこれからの教育も昔と同じでよいかと反省すると、多少の疑惑が生じてくる。

第1にこれからの技術者に要請される重要な資質は創造力であるとする、在来の教育法がそのままよいと伝えるであろうか。

第2に教官の講義したことの何パーセントを覚えているかという、比率で採点する試験法では、暗記力のテストにはなるが、真の学力テストになるかどうか疑問がある。すなわち学力テストそのものを反省、検討するに値すると思う。

高専の、特に低学年の段階では、とにかく基礎事実を覚えてもらわなければ独創力うんぬんの問題は早すぎるという反論もあろうかと思うが、果してそうであろうか、教授法にも試験方法にも工夫の余地は少なくないように思う。

5. 学校講義の意味

よく学校で教わったことは皆忘れたとか、何の役にも立たなかったということを聞きますが、一度勉強したことをすべて覚えていることが出来たら大天才であろうし、その人が社会的に発展しているならば、恐らくは学校で勉強したことを基礎にして発展しているはずで、上記の感想は学校教育を批判するものとは受取ることは出来ない。

大学に居たころ、重要なことはすべて講義しなければならないと考えているかのような先生方が多くて、次のような反論を度々したものです。

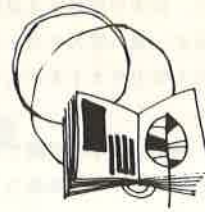
「私が今講義していることで、30数年前に教わったことは10%か20%くらいで、その他は皆自分で勉強したことだと思う。若い先生にとっては率はもう少し多いかも知れないが本質は同じではありませんか。講義の真髄は将来勉強しようとする意欲を振り起こさせ、それを可能にする基礎を与えることではありませんか」と。また「講義しないことは、学生は知らないと考えることは妥当であろうか」と。実際必要なことを全部講義したら何年講義しても尽きることはないことは明瞭なことです。

さて同窓会の諸君も卒業後数年までは運がよければ学校で教わったことが、そのまま役に立つこともあるかもしれないが技術者として発展するためには、やはり職場の仕事で機縁にして問題を深めかつ拡げる努力をすることが大切かと思う。

〒410 沼津市南本郷町14-27



職場だより



「母校に最も近い会社」

国産電機 M7 杉山 高一

「国産電機」この名前を聞いただけで、アー!? あそこか、と思出す事でしょう。

しかし、何を造っているのかを知っている方は極くわずかであると思われる。

当社は一口で言えば発電機(マグネト)メーカーである。業種はオートバイ、船、農機、汎用機等。他に事務器等の小型モータも造っている。最近では、四輪レーサー用のイグナイター等にも色気をみせているようである。

当社の同窓生はというと、意外にも、私とM9の芹沢の二人だけである。他に有明高専、大分高専から各々1名ずつ電気ヤが来ている。

仕事は大卒と対等であり、差別を感じた事はない。

私はダイカスト及びインジェクションモールドの金型設計。それらに関する機器全般を担当している。オイルショック以来、我々、素材材にとっては「VA」の二文字は頭痛の種である。製品の薄肉化、無加工化、歩留向上、段取工数の低減等を常に心がけて設計しなければならない。生産技術系の仕事と言うのは比較的早く、結果(効果)が出るので、やりがいがある。特に金型関係の仕事は理論よりも経験が物を言うだけに、度胸とはったり(?)で担当者の発言力が尊重される業種である。

芹沢は電装設計部(製品の設計)で研究発表を控えて得意(?)な材力の参考書と首っぴきである。電気関係の知識を必要とするので苦勞しているようである。今後、彼も量産業種を持たせられると思われる。

学卒(大卒、高専卒)は入社すると、一年間実習があり、配属は翌年となる。配属一年後には研究発表が義務づけられている。このようにして、我々は国産電機マンとして育てられてきた。他の高専卒も電装設計部で活躍している。

賃金面では国産全体の水準が低いのはやむを得ないと

して、32~33才ぐらいまでは、年令給であり、学歴による差はほとんどない。その後、大卒に準じていけるか、どうかは、今後の事であり、全くわからない。

以上、国産電機に於ける高専卒の待遇について述べてみたが、いまだに仕事、査定等に高専卒であるから損をしたという経験は無い。

今後、後から来る後輩の為に、また自分自身の為にも頑張るつもりである。

〒410-11 裾野市佐野931

東洋電産の七人

M8 近藤 博明

夏という季節は我々にとって極めて厳しい時期であります。というのも、東洋電産に於いては、アルミニウムキャスティングをその生業としており、工場内は酷暑というよりも灼熱という表現の方がよりの確にその状況を伝えることができる様な状態だからであります。この灼熱地獄の中で、我が沼高専出身者の半数以上が男の戦いをくりひろげているのであります。現在の当社における卒業生の内訳を述べさせていただきますと、まず機械工学科11期が、後藤、根上、箕田の3名で、各々現場で奮戦中であります。そして、電気工学科11期が、杉山で前記3名とは別の現場で奮戦中であります。11期の4人は研修期間中余り熱心でありますので、現場にひきとめられて現在に至っております。次に機械工学科10期の平田、電気工学科10期の室伏であります。平田は、技術課にて設計から生産まで何でもこなす重宝がられ、時には生産現場からも是非にと頼まれる程に信頼されているのであります。彼は在学当時から野球に狂っていたらしく、入社後も社内野球部に属して、すでに彼がいなければ始まらないという程になっているらしいのであります。室伏はと申しますと、当社電気部門であります別工場に勤務しているのであります。彼は七人の内で唯一人別工場にいたのでありまして、やはり一人で何から何までこなして信頼を集めているのであります。そして機械工学科

8期の近藤であります。以上沼高専卒業生「七人のサムライ」というわけであります。この4年間に入社した若手男子は11名でありますから、高専卒業生の占める割合が大きいわけであります。我が高専卒業生は、真面目で、

礼儀正しいので、特に年配の女性にうけが良い様であります。全員まだ若年でありますので、これからの活躍が期待されている様であります。

〒410 沼津市千本港町14

第15回東海地区高専大会報告

C2 中村 誠一

第15回東海地区高専大会は7月16日、17日を中心に行われた。17日はあいにくの雨天で硬式庭球は個人戦が中止となり、軟式庭球は18日に一部延期された。主管校は豊田高専であったが今年より各地区で分散して開催され今回沼津では軟庭、サッカー、バスケットが行われた。

今年は団体で12種目中5種目優勝という戦績であり、久しぶりに沼津健児の存在を大きく示した。それらの結果は次表に示すとおりである。なおラグビーについては11月20日、22日に沼津高専グラウンドで行われる予定である。

卓球は団体戦3連勝であり、また今回はダブルス、シングルスとも1位独占という輝かしいもので、卓球沼津の名を与えるにふさわしいものであった。

水泳も卓球同様団体3連勝であり、他を圧倒する強みがあった。長年顧問の渥美先生の献身的な力ぞえが大きい。

ハンドボールはクラブ創立時から3位、2位、優勝の順に年ごとに進歩が見られた。十分な練習場をもたないのにすばらしい成果と思う。しかしこれからは追われる者の立場であり、明年は真の実力が問われる。

サッカーは以前より悪天で沼津強しという評があったが、今回まさにそのとおりであった。17日は朝から沼津は激しい雷雨となった。グラウンドは一面水びたしとなり選手は泥まみれでびしょびしょになりながらプレーした。最後まで粘り切った沼津が勝ちを拾った。

軟式庭球は1年おいての優勝であり、今年は2年前から主力が残っていたので当然の結果と言える。だが勝負はわからないもので油断した昨年と同じ結果になるのではないかと心配もあったが、今年は勝つ意欲に燃え他を圧倒した。

その他の競技はよく健闘したが勝利に導びかなかった。数年前と比べ高専のレベルも向上しているため特別な練習や一層の団結が必要である。今回苦杯をなめたクラブは次回をめざしさらに努力が必要である。

軟庭、サッカー、ハンドボール、卓球は全国大会の出

場権を得てその活躍が期待される。

〒410 沼津市大岡3873



総 合 成 績 表

種 目		順 位	優 勝	2 位	3 位
陸 上 競 技			豊 田	鈴 鹿	岐 阜
硬 式 庭 球	団 体 の 部		鈴 鹿	沼 津	豊 田
	個 人 の 部	ダブルス	雨天中止		
		シングルス			
体 操	団 体 の 部		豊 田	鈴 鹿	沼 津
	個 人 の 部	床 運 動	寺 本 (豊)	兵 藤 (豊)	森 岡 (豊)
		跳 馬	寺 本 (豊)	森 岡 (豊)	山 本 (鈴)
バ レ ー ボ ー ル			豊 田	岐 阜	鈴 鹿
軟 庭 式 球	団 体 の 部		沼 津	豊 田	岐 阜
	個 人 の 部		後藤・小沢 (豊)	林・後藤 (岐)	勝又・高橋 (沼)
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル			岐 阜	鈴 鹿	沼 津・豊 田
サ ッ カ ー			沼 津	岐 阜	豊 田・鳥 羽
剣 道	団 体 戦 部	全 国 大 会 予 選	豊 田	鳥 羽・岐 阜	
		勝 抜 戦	豊 田	鳥 羽	岐 阜
	個 人 戦 の 部	近 藤 (豊)	松 尾 (岐)	片 岡 (鈴)	
ハ ン ド ボ ー ル			沼 津	豊 田	岐 阜
硬 式 野 球			鈴 鹿	豊 田	岐 阜
水 泳 競 技			沼 津	鳥 羽	豊 田
柔 道	団 体 戦 部	全 国 大 会 予 選	鈴 鹿	鳥 羽	豊 田
		勝 抜 戦	鈴 鹿	鳥 羽	岐 阜
	個 人 戦 の 部	軽 量 級	田 中 (鳥)		
		中 量 級	池 田 (鈴)		
重 量 級	田 辺 (鈴)				
卓 球	団 体 の 部		沼 津	岐 阜	豊 田
	個 人 の 部	ダブルス	稲 葉 (沼) 小 楠 (沼)	吉 田 (沼) 辻 田 (沼)	山 下 (豊) 小 沢 (豊)
		シングルス	吉 田 (沼)	山 下 (豊)	浜 口 (鳥)

座 談 会



就職に対する心構え

学生主事 藤野紫郎

昨年7月3日に卒業生諸兄と5年生との就職に対する心構えについての座談会を初めて開催したことは、同窓会誌第6号で報告したが、本年も昨年と同様の主旨に基づいて7月2日(土)に後記17名の卒業生に來校願って座談会を催した。

当日は午前9時より視聴覚教室において木ノ内倫弘君(M1)より5年生全員に対して自己の体験を中心にして、これからの就職試験と就職後の企業内における心構えについて約40分間話してもらった。その後各科に分れて各講義室で卒業生がそれぞれ専門分野の特徴も加味した体験談を語ってもらい、5年生からの質問にも答えてもらった。

座談会の後教官会議室で三主事、就職委員教官、同窓会顧問教官と共に会食をしながら卒業生の学校に対する要望等活発な発言があり、午後2時頃散会した。

この座談会に協力してくれた同窓会理事諸兄と當日来校された卒業生諸兄に厚く感謝するとともに、今後ともこのような企画に対しての協力をお願いしたい。

當日来校した卒業生は下記の諸君でした。

- | | |
|------------|-------------|
| 木ノ内倫弘 (M1) | 武田 裕久 (M2) |
| 塩川 修二 (M3) | 近藤 博明 (M8) |
| 小林 勝 (M9) | 小池 龍三 (M1) |
| 岡本 惇 (M3) | 木村 真 (M8) |
| 杉山 高一 (M7) | 水上 重徳 (E5) |
| 小川 吉晴 (E5) | 室伏 健次 (E10) |
| 神山 始佳 (E2) | 本多 政敏 (C6) |
| 大沢 幸一 (C1) | 塩川 広 (C5) |
| 納谷 修 (C3) | |

〒410 沼津市大岡3559-64





教官

オール三段への夢

…剣道部OBへ長期計画を披露する…

大沼栄穂

剣道部OB諸君！ 健在なるやいなや？ この紙上を借り、近況の報告をかねて長期計画の披露及び今後の後輩への助言指導を期待したい。

時あたかも、東海地区高専大会。今年度は年来の宿敵たる、鈴鹿、鳥羽といった常勝、三重勢を打破せるにもかかわらず、岐阜には一矢報いられ、豊田には惨敗を喫し、作戦のチグハグ、力量の底の浅さを見せつけられ、いささか考えさせられざるを得なかった次第。

ここにおいて、敗軍の将兵を語るのそしりを免れがたいところであるが、反省すべき諸点を列挙し、心に期するところを以下に綴ってみたい。

まず反省すべき諸点として。

(一) 地区のレベルは全国的に必ずしも低くはないが、各校の間には従来かなり実力の開きがあった。今年の状況は、それをくつがえし、実力伯中、むしろ逆転した感あり。豊田の初優勝がそれを物語る。このような状況の変化にかかわらず、旧態依然、特定校のみ眼中におき研究していたきらいなきにしもあらず。

(二) 小手先の技術や作戦では優勝しない。優勝チームとなるためには勝敗を超越し試合そのものを楽しむ風格を持たなければならない。ここぞといった時に思い切ったわざを出すような心の余裕がなければならぬ。(今年の豊田にはそれがあった)。

(三) 稽古と試合の相関と相違

稽古とは基本プレーを着実に身につけることであり、更にそれを適確に応用するための構え、タイミングを会得することであるがどちらかという相手

が限られている試合となると未知の相手である、相手をさぐる、様子を見る、という誘いわざとか、相手の体勢をくずすための工夫、かけ引きが必要となる。ある程度の対外試合の経験を重ねなければならぬがこれがどうしても不足。

以上にもとづく長期計画として、

稽古と試合を使い分けるような感覚、誘いわざと決めわざを使い分ける技術、つねに主導権をとって相手のあせりを誘い一瞬のスキを逃さない読み、これらが今後の我々の課題である。これらはしかしながら、練習、稽古から生れる以外の何ものでもないのだが。だとすれば稽古をムダにしない研究能力がカギということか。

高段者(三段以上)とは、このような研究能力にすぐれている者のことであろう。その結果心に余裕ができ、試合そのものが楽しめるのである。勝敗に一喜一憂するというよりも一試合ごとに力をつけるような合理的態度につらぬかれているのである。心に余裕がある場合、マナー(礼儀)もそなわってくるであろう。オール三段への夢、これが今後にかかる私の長期計画である。

〒410 沼津市下香貫牛臥3025

教育課程の改訂

教務主事 佐々木 俊 夫

高専の教育課程については、新聞紙上その他で過密ダイヤ、詰め込み主義と宣伝されたこともあったが、我々高専教育の当事者としては、高専の学生にとって、それほど負担過重になっているとは思っていない。しかし専門教科目の増加に伴ない、学年別配当時間数が高学年に集中する傾向は、専門基礎教科の低学年履修が必須の条件となる高専教育においては必然的な現象である。

また卒業生諸君が身をもって体験されたように、学校拘束時間が多いため、学生の自学自習の時間やその指導、ひいては学生自身のやる気の喪失、専門分野の大局的概念、学問の論理的体系、工学の全体システム等の把握の困難な視野のせまいエンジニアになりかねない。技術分

野は創造、開発、転換の早い分野であるので、その有効な適応に弱点があり、一抹の不安を感じていた。

創立当初の高専の教育課程は、「設置基準」に授業科目、時間数の大綱が、「教育課程の標準」に授業科目内容、学年別時間配当が詳細に規定され、高専の特色、内容を明確に示し、高専制度の確立に重要な役割を果たして来たが、十数年を経過した今日では、かえってカリキュラムの硬直化をきたし、学問の進歩、技術科学の発達に対応しきれない面が見られるようになり、卒業生が社会に出てから、エンジニアとして命脈をどれくらいの年月保てるか疑問に思われるようになった。このため、文部省、国専協の関係機関で慎重審議の結果、昭和51年7月、高専設置基準のうち教育課程に関する規定を改正する省令が公布され昭和52年度入学生から適用されることとなった。

その概要は次の如くである。

- (1) 各高専が学問、技術の発展に伴ない、教育内容に独自の創意工夫が出来るよう、教育課程の基準に関する規定を弾力的なものとし、自由度を増加させた。
- (2) エンジニアとして専門技術の消化に必要な、所謂命脈の長い基礎科目を中心としたカリキュラムを編成し自ら勉強し、生涯教育に耐える能力を養成できるようにする。
- (3) 学生に適切な時間的ゆとりを与えることが出来るように、授業時間数の基準を緩和し、学生の受容内容の充実のため選択制(コース制を含む)を採用入れた。さらに具体的数字を示せば、週当りの授業時間数の基準が旧基準の190時間から、180時間以上に改められ、基礎科目プラス学校選択の必修科目と、学生の自主的勉強意欲の向上とゆとりを与えるための選択科目において、選択制コース制を導入したこと。(本校電気工学科は、電力コースと電子コースの2コース制となった。)

学年制を基本として卒業迄に履修並びに修得しなければならない最小単位数を規定したことである。

沼津高専においては、各学科ともに、新基準に則して、教育内容の質的充実と、特色化のため、研究を重ね、すでに新カリキュラムの最終版が出来上がっていて、その効果向上のための、教育方法改善プロジェクト・チームも生まれ、本年度より実施中で、あと四年間で実施上の不備を改善し、新しい高専教育を確立すべく鋭意努力中である。



技術科学大学について

教務主事 佐々木 俊 夫

従来、技術科学大学院という名称で、高専卒業生の中、研究職または教育職に適し、その能力ある者を二年制の学部に入學させ、引続いて二年制の大学院に進級し、合計四年間で修士号を授ける大学院を考えていた。

現在の学校設置法ではこの様な大学でも、大学院でもないものはないので、昨年5月国立学校設置法の一部を改正し、同年10月1日付で技術科学大学を大学院を付して2校創設し、場所も豊橋市と長岡市と決まり昭和53年4月より、300名の新入、編入学生を入學させることとなった。三年生の編入学定員は主として高専卒業生を対象として、六課程10名定員計60名、大学院は300名定員で、学士号を授与した者は殆んど修士コースに進学出来ることは他大学に例がない。従来高専卒業生の中に、五ヶ年間の勉学によって将来研究開発面を担当する研究職、あるいは、高等教育機関の教育職に進むのが適当で大学への編入を志望する学生が逐年増加を示し、又関係方面の努力により東大以下30数校が編入の道を開いてくれて、毎年全国で150名位の高専卒業生が大学に進学しているが、技術科学大学の設置により進学の道が飛躍的に大きく開かれることになった。技科大は実践的、創造的な技術の開発を主眼として教育研究をおこなう新構想による大学院に主眼を置いた工学系の大学であり、高専のカリキュラムに継続した教育内容をもつものと考えられ、この制度のできた事は、高専の新カリキュラム発足と相まって、高専のなご一層の発展に寄与することが大であろうと思います。

同窓会員諸君に訴える

付：電気工学科の近況報告

電気工学科主任 川井 晴 雄

同窓会員の皆さん、毎日元気で活躍されていることと思います。本校も創立以来15年余になり、本年3月には新進気鋭の第11回卒業生を送り出しました。これで同窓会会員数は1,472名となり、その中電気工学科は422名です。会員諸君の中に極く少数ながら物故者があるのは誠に痛ましく残念なことと思っております。前途有為の青年にこんなことがあってはなりません。栄光の道を歩む者はたとえ立派な能力を持っていても、体力、健康を損うことがあれば一切が無になります。くれぐれも健康

に留意し体力増進に努めて下さい。同じ高専卒の中でも、本校卒業生の社会的評価が高いことは、10年に亘り電気の卒業生の就職や進学の御世話をして来た自分には、各方面から入る情報から判断して極めて信頼性の高いもので大変心強く思っています。職場において高専卒は実践的技術者として頭角を表わし、若さに加うるにすぐれた実行力を示しており、企業にとって今や不可欠の存在となりつつあります。卒業生諸君はどうか自信をもって、然も驕ることなく着実に成長されるよう願って止みません。

先般、十数名の会員の御協力を得て、5年生に対し就職に対する心構えを説いて頂きました。この催しは昨年に引続き第2回目ですが、忌憚のない意見の交換が行われ大変有意義であったと思います。説明会終了後卒業生と教官の間で種々話し合いを行いました。その中で本校の、延ては高専の卒業生が大学卒業生に対しどのような意識を持っているかが話題となりました。高専卒の諸君が何かにつけて大学卒の仲間や後輩を自分と違う道を歩んで来た、端的に云って自分よりも能力のある人間として見る傾向があるようです。然し、これは全く誤りであることをよく認識して頂きたいと思ひます。申すまでもなく各個人の能力はその人自身の資質と努力によって得られるもので、学校における教育はその資質を如何に本人に認識させるか、またそれを如何に伸ばしてやるかの水先案内に該当するものであって、本人の自覚と努力なくしては何の意味も持たないものであります。確かに一部の企業の中には学歴そのものを尊重したり、また極く僅かながら学閥的色彩の強いものもあります。然し、このような企業も繁栄を期する以上は近い将来その態度を変えざるを得なくなるでしょう。申すまでもなく、企業は業績を向上させねばなりません。少なくとも相当の利潤を常に確保しなければなりません。

この至上目的を達成するためには従業員質的向上が必要ですが、このことは決して学歴尊重に直接つながるものではありません。学歴を尊重することではなく、各人の能力を評価してその総合力を大きくすることが業績の向上をもたらすからです。高専出でも大学出でも仕事の面に能力を発揮できぬ人を企業は必要としないのです。これは当然のことであり誰が考えても明白な事実であります。

卒業生の皆さんも高専出の能力が大学出に比し決定的に劣るとは決して考えていないでしょう。前にも述べた通り、能力は学歴で決まるものではなくその人の資質とその人が努力を傾倒するか否かによって決まるものです。

本校の初代校長の遺訓にもある通り、人柄のよい技術者、さらに能力のある技術者となるよう努力研さんを積

んで下さい。必ずや諸君の前途は輝かしいものになるでしょう。

なお蛇足ながら一言お断りしておきたいのは、以上述べたことは現在のわが国の官界では遺憾ながら通用しないということです。官界は、いわゆる一流大学卒のレテッテルが優先する世界です。

さて、この辺で話題を変えましょう。電気の卒業生の動向については51年度までを取編め、「沼津高専だより」第1号で報告しましたが今回は52年度卒(第11期生)も入れてお知らせします。表1は電気工学科の全員422名の卒業時の進路を、表2は卒業と同時に就職した376名の就職先を業種別に示したものです。(但し卒業時の内訳を示したもので、その後の若干の異動は含まない)如何に数多くの卒業生諸君が多面で活躍しているかを如実に示しており、誠に心強い限りです。次に電気工学科の教科課程の改訂については2年余に亘り慎重に検討を加えて来ましたが、本年度からコース別選択制の採用に踏み切りました。最終的な姿は3、4年先になると思ひますが、本年度は5年生のみを対象に電力コースと電子コースのいずれかを選択させることとしました。これにより専門科目の科目数の増大と、各科目の内容の刷新強化を図りより充実した専門教育が行えるようになったと確信しております。授業時数は週180時間以上が今後の基準となり、学生が授業に拘束される時間は軽減され、自主的勉学とクラブ活動に充てる時間がふえた訳です。本年度は5年生40名中電力コース26名、電子コース14名となっております。表3にコース別選択科目(必修)を示しておきます。

もう一つ御紹介しておきたいのは、電気工学科内に情報処理教育強化のため新鋭のミニコンシステムを新設したことです。図1にブロック図を示しておきます。これは学生の実験、研究が手軽に行え、特にハード面の理解に重点をおいて、学生自身がその応用面まで自由に活用することを目的としており、周辺機器も追々整備して行く予定です。これが当科の電子計算機室は、アナコンおよびIBMの中型コンピュータに本機を加え内容が一段と充実しました。御来校の際は是非御覧下さい。

最後に、再度諸君の御健康と御発展を祈ります。

〒411 駿東郡長泉町下長窪108 高専宿舍



表1 全卒業生の進路(電気工学科)

進路	人数	(比率)
卒業と同時に就職した者	376名	(89.1%)
大学へ編入学した者	29名	} 40名 (9.5%)
大学へ普通入学した者	11名	
卒業時に未定だった者	6名	(1.4%)
卒業後	3名 就職	
	1名 大学編入学	
	1名 大学編入学 予定	
	1名 大学普通入学 予定	
合計	422名	(100%)

表2 業種別就職者数(電気工学科)

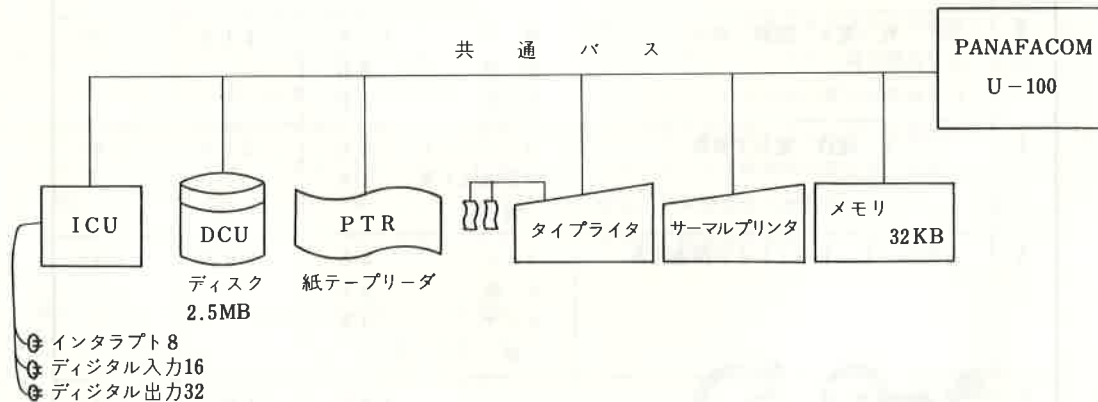
番号	業種	主な就職先および人数	人数 (小計)	比率 (%)
1	電気・電子機器製造およびサービス	日立 22名 東芝 11名 三菱 12名 明電 10名 日電 19名 松下 9名 沖他 10名	236名	62.8%
2	電力・ガス	東電 11名 中部電 9名 関電 5名 他	29名	7.7%
3	公社(電々、国鉄、専売)	電々 11名 国鉄 8名 専売 2名	21名	5.6%
4	プラント・建設・電気工事等	日立プラント 4名 東芝電気工事 2名 他	21名	5.6%
5	自動車・オートバイおよび関連産業	トヨタ 8名 日産 2名 ホンダ 3名 他	20名	5.3%
6	諸機械製造		19名	5.0%
7	その他諸工業(写真、化学、薬品等)		30名	8.0%
	合計		376名	100%

表3 5年生に対するコース別選択科目(必修)

	電力コース			電子コース		
	科目名	時数/週	内容	科目名	時数/週	内容
52年度より実施中	発変電工学	2	発変電所全般に亘るが電気的な特性および運転制御、保護システムを重点的に扱う。	電子回路	2	電子回路の解析、回路設計並びに実習。
	電力系統工学	2	送配系統の構成とその特性に重点をおき電力、潮流、安定度、故障現象等の解明に努める。	固体電子工学	2	電子工学を気体(両コースに共通)と固体に分け、固体では主として半導体に重点をおく。
	電気設計	2	電力用機器の設計法の基礎および演習。	電力工学通論	2	電力の発生から送電、変電および配電までの概要を説く。
	電気法規	1	電気事業法で定められた法規の精神と要点を講述する。	電気材料	1	電気材料全般については、年次に両コース共通に2時間/週行うが、ここでは半導体の生成過程等を中心に講述する。
53年度から	電気機器	2	3年次2時間、4年次1時間は両コースに共通とし、ここではサイリスタインバータ、その他の制御機器に重点をおいて講述する。	マイクロ波工学	2	マイクロ波の発生と伝播およびマイクロ波用素子等を講述する。
54年度から				通信工学		4年次は両コース共通に2時間行うが、ここでは電子交換その他の最新の通信技術を説く。

(注) 1. 両コースの対応する科目は同一時間帯に行う。
2. 電気主任技術者(第2種)資格取得を将来申請する者は、電力コースを選択しなければならない。

図1 新設のミニコンシステムブロック図



52年3月卒求人倍率

リクルートセンター資料

	M (生産機械)	E (電子)	C (化学工学)	計		M	E	C	計
函館	7.5	7.0	2.6	5.0	米子	12.0	9.3	4.6	7.3
苫小牧	7.5	9.1	4.0	6.0	松江	10.3 (6.1)	8.0	-	7.1
釧路	8.9	9.2 (3.3)	-	6.1	津山	4.1	7.6	-	4.5
旭川	4.2	8.2	4.7	5.3	呉	11.4	12.6	-	8.3
八戸	9.0	6.6	5.5	6.3	宇部	4.0	7.6	4.1	4.9
一関	5.2	9.0	(4.6)	6.0	阿南	4.1	8.1	-	5.0
宮城	11	8	-	7	高松	5.1	11.8	-	5.8
秋田	8.2	8.2	5.0	6.7	新居浜	11.0	10.1	4.9	7.6
鶴岡	5.9	10.5	6.3	7.3	高知	7.7	7.3	4.6	5.9
福島	8.9	9.8	3.3	6.2	久留米	4.2	6.7	4.1	4.8
茨城	6.1	10.9	4.5	7.0	有明	7.5	9.0	3.4	5.6
小山	12.8	14.7	7.3	9.64	北九州	5.2	9.0	(9.0)	6.9
群馬	14.6	10.5	10.6	9.7	佐世保	4.8	8.0	4.1	5.5
木更津	8.8	9.2	-	6.8	大分	3.7	6.2	-	4.2
東京	23.3	20.0 (12.7)	11.5	17.0	都城	10.6	9.7	8.7	8.8
長岡	8.0	8.5	4.5	6.4	鹿児島	5.5	7.2	-	5.4
富山	10.6	10.4	7.0	9.3					
石川	12.7	8.8	-	7.3	国立	7.1	8.8	5.2	6.4
福井	9.2	6.7	3.2	5.3	全体	6.8	8.5	5.4	6.2
長野	4.7	8.6	-	5.8					
岐阜	7.0	6.1	-	4.6	航空	3.8	-	-	3.3
沼津	8.1	13.8	8.1	9.61	都立	5.7	13.7	-	7.7
豊田	8.1	7.9	-	5.9	大阪府	4.6	6.9	4.3	4.3
鈴鹿	7.5	7.0	5.0	5.8	神戸市	8.4	6.6	5.4	6.4
舞鶴	4.8	7.0	-	4.9					
明石	9.6	9.1	-	7.1	全公立	5.2	8.5	5.0	5.5
奈良	5.6	7.6	(4.0)	5.8					
和歌山	7.9	6.3	4.1	5.4					

工業化学科の近況

工業化学科主任 富田 彰

母校の教室がその後どうなっているだろうか、先生方は元気にやっておられるだろうかと言う様なことは卒業生諸君にとって大きな関心事と思ひ、ここに科の近況について少々筆をとる次第です。

まず、工業化学科創設以来教室の長老として学科の整備、発展に御尽力された村松先生には51年4月1日付を以て定年退官されました。

村松先生には満10年間、無機化学部門の講義と実験、卒業研究の指導、4年、5年の学級担任、更に学科主任として教育、補導に精励され工業化学科の基礎を築かれました。

46年3月卒業のC1は化学科第1期生の名に恥じず豪の者揃いで、その補導には先生もいたく御心痛なされたことを今は懐しい昔語りとして時々話題に上っています。

そのC1の一人で先生に何かと世話をかけた大沢君が去る7月2日、本校で開催された、「就職に関する卒業生と5年生との座談会」に立派な背広姿で出席してきました。

彼は5年生の前で「就職に対する心構え」について見識ある社会人として、落ち着いた自信ある態度で自分の体験を通して、こまごまと話してくれました。

私は傍で聞いていて「これがあの時の大沢君か」と彼の成長振りに驚き、村松先生もどんなに喜ばれることかとひそかに思ったりしていました。

村松先生には退官後も前期だけ週1回非常勤講師として御元気な御姿を教室に見せています。

村松先生の後任としては米崎先生が赴任され無機化学部門の講義、実験を担当しております。

米崎先生は昭和19年東北大学理学部化学科を御卒業後日本製鉄（現新日本製鉄）に入社、同社生産技術研究所において製鋼技術と各種鋼板の新製品に関する研究開発

に業績を上げられ、同科次長を最後に退職された方です。

米崎先生は誠に多芸、多趣味で、ドライブ、写真、弱電機器の組立て、無線、陶芸、園芸、俳句、ゴルフと十指に近く、その明るい御性格と話術の巧みさは村松先生が去られて淋しさひとしおの教室に一段の明るさと賑やかさを取戻してくれた感があります。

俳句には茂山人の号をもって句誌に発表しているとのことで

陶削る音の幽けさ 笹子鳴く
海風腸や風鳴る 留守の小孟

などは、御専門の化学の世界を暫し離れて幽玄の境地に遊ぶ粹人のわび、さびを表現した名句でありましょう。

過去のキャリアから溢れでる講義もなかなかの名講義振りを発揮しているようで、陽イオン（Cation）は「固いオン」、陰イオン（Anion）は「穴いオン」と発音して覚えておけば絶対に混同する様なことはない、とにやにやと笑って教えている先生の顔を思い浮べて苦笑を禁じ得ません。

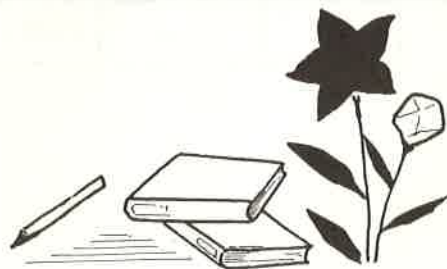
ただ一人の独身教官として注目の的であった望月先生は去る5月8日、静大教育学部出身の麗人と結ばれ、益々張り切って教育に研究に精励しておられます。

さて世は正に低成長時代、大企業は依然として極度に新卒採用をしばらく、高専卒の市場として浮び出てきた中小企業も漸く飽和の様相を呈してきている様に見受けられます。幸いに卒業生諸君の技術力に加えて誠実とバイタリティが買われ、企業における評価も逐年高まってきておる事は誠に嬉しく、心強く思っています。

将来の発展を諸君の双肩にかけている中小企業の期待に応え、諸君が企業と共に成長され、後輩を引き立てて下さいます様、切に望んでいます。

就職事務の開始される9月を控え、厳しい就職戦線に勝ち抜くために卒業生諸君から諸般の都合の許す限り勤務先の情報を御一報頂き度く、宜しく御協力の程御願ひします。

〒411 駿東郡長泉町下長窪108 高専宿舍



雑感 阪倉康男

同窓会の幹事の方から、何か書くようにとの依頼を受けた。

早いもので、退官後いつしか3ヶ月が過ぎた。在職中は多くの方々から、一方ならぬ御支援を戴き、それ等が走馬燈のように、次から次へと想い出される。感謝に耐えない。同窓会の諸兄には、新参教官として多大の御迷惑をおかけしたことを恥お入ると共に、教えることへの喜びを与えて戴いたことに対し心からお礼を申し上げ度い。また退官に際しては、同窓会の方々から過分の贈物やお持成しを戴き、深謝に耐えない。御挨拶を申し上げなかつた多くの方々に、甚だ恐縮ですが、本誌上をお借りして厚くお礼を申し上げます。

さて次に、最近感じたことを一、二申し述べて、その責を果たさせて戴き度い。

人間、20才前後は、理想、恋愛、平和、人類などという、人間世界の抽象的な観念に思慕をもちやす。30才代になると、挫折→現実認識のくりかえしを通じて、考え方

が現実的になる。そこでこれに押し流されないためには、人間はどうしても、自分で一つのはっきりした目標（具体的には仕事）と意図を持って、この人生にチャレンジし、それを成し遂げることが大切である。この時、人は自信を得、人間的にも一段と成長する。やっぱり男の勝負は、仕事の世界だと思う。

学問上の発見、芸術上の作品は、創造者の自己集中の結果生れる。ビジネス上の新しいシステムや製品開発も、基本的には、この枠の中に入るといえよう。しかし、時として製品開発は、他の人との接触によって或る日突然花が開く。製品も、生産者サイドの生産・販売第一主義から、消費者サイドへの切り換えが必要であるといわれている。そこで、情報の役割が一段と大切になる。

人は何かしら人生経験を持つ。「三人寄れば文珠の智慧」という諺がある。人間こそ情報の宝庫である。5～7人のグループを作り、月に1回、2時間位、その人達と飯でも食べて話し合う。このような試みは、いかがだろうか。ただし、これには、一かどの意見の持主、行動半径の広い人、他業の人を選び、出来るだけ各方面の情報と発想をとり入れるように心掛ける。

以上、くだらぬ事を申し述べ、大変失礼しました。

阪倉先生退官祝賀会報告

M1 跡部 恵一郎

母校、機械工学科阪倉教授が、去る3月をもって定年退官を迎えられるに当たり、有志の手で3月19日(出午後1時より、三島駅前田代グレルにて「阪倉先生を送る会」

が開かれました。

当日は在学中卒研で先生にお世話になった卒業生や沼津近辺在住の卒業生を中心として14名の卒業生が出席、11年間の先生の労をねぎらい、なごやかな一時を過ごしました。

なお先生は、退官後技術士として活躍されると共に、非常勤講師として引続き母校で講義をされます。

阪倉先生新住所 横浜市戸塚区小雀町1868



会 員

ケイレイお父ちゃん

だて まさみつ (4才)

ボクの最初の誕生日の頃でした。ある日、お父ちゃんが、おまわりさんみたいな服を着て、出かけて行きました。

お母ちゃんが「お父ちゃんは、今日から函南町の消防団員になったのよ。」と話してくれました。でもボクには、チットモ分からなかった。

それからあと、何日も「訓練だよ」と言って、朝早く出かけて行きました。そして帰ってくると「おみやげだよ」といってボクに、パンと牛乳をくれてから会社へ出かけました。夜になると、時々かがみの前で、ケイレーとか、マワレミギとつぶやきながら、おかしなかつこうをしていました。

ある日、ウーッ、ウーッ、ウーッと、すごい音がしました。そしたらお父ちゃんは急に恐い顔をして、丸くてかたい帽子をかぶり、変な服をひっかけて車で飛び出して行きました。ボクは、何だか恐くて恐くてお母ちゃんにしがみついて泣いていました。あのすごい音は、サイレンというのだった!!

その時からサイレンが鳴るたびに車でとび出して行くようになりました。ごはんを食べていても、お酒をのんでいる時でも、ほっぺり出して……。

夜中にぐっすり眠っていても、サイレンが聞こえると、とび起きて、お母ちゃんは、どこかへ電話をして、お父ちゃんは、バタバタと変な服を着て、とび出して行きました。そんな時、いつもボクは目をさましてしまい、泣いてばかりいました。

この頃、お父ちゃんがとび出して行くのは、どこかの火事を消しに行くのだと分かって、恐くなくなりました。夜中に出て行って、お日様があがってから帰ってきた事もたくさんありました。そんな時は、ねむい、ねむいと言いながら会社へ出かけて行きます。

サイレンがなくても「消防だよ」と言って、よく出かけます。その時は、こわい顔をしないでゆっくり出かけるからいいのだけれど、帰ってくると、よくお酒のおいがします。お母ちゃんが「またのんできたのね」と言うとき「訓練が終わってからゆっくり話ができるのは、お酒をのむ処しかないんだよ。」なんて言っています。

ほかに、雨がたくさん降った時や、台風がきた時よくお父ちゃんは「提防を見てくる。」と言っては、出かけて行きます。

お父ちゃんは、今年で4年目になり、1年間、部長という役をつとめておわるそうです。ある時、お母ちゃんと訓練を見に行きました。お父ちゃんが、大きな声で、「ケイレー」とか「マワレミギ」というと、同じ服を着たたくさんのおじちゃんたちが、兵隊さんのようにおもしろいかつこうをします。

「お父ちゃんは、すごいんだね。」とお母ちゃんに言うとき「しばらくの間、分団長さんというえらい人の代わりに号令をかけるんだってよ。」といました。そして「大変だけど、まあちゃんも大きくなったらお父ちゃんみたいになるのよ。」と言いました。

ほくも、一度、本物の消防自動車に乗ってみたいなあ、と思います。

(M1 伊達忠昭・長男)

〒419-01 田方郡函南町塚本445

寸 評 子 (4)

M1 島 村 俊

7月24日、今日はやけに暑い、だが、この暑さに負けずに頑張っている若者達がいる。……そう、我が母校の野球部が、甲子園での真紅の優勝旗を手に、あの「東海にそびえて名有り……」の名曲を全国に流すために力いっぱい健闘しているのである。第1回戦は沼津球場で田方農校に8-0のコールド勝ちで圧勝し、期待が急に盛り上がった。残念ながら仕事なので応援には行けなかったが、その夜のビールは又かくべつであった。

24日は日曜日だが、球場は島田なので、ラジオとテレビの速報を待つしかなかった。テレビでは静岡球場の様子は伝えていない。ついに待ちに待った速報が入った。「島田球場第2試合、7回を終って3対1で沼津高専がリードしています。」

さあこれで次に勝てばベスト8に進出だ。うまくいけばテレビの中継にぶつかろう。その時は休んでテレビの前にかじりつこうか?仕事のスケジュールはどうだったかな?雨が降らなければ土曜日は決勝戦だなあ……。等が頭の中を駆けめぐった。早く「9回終って沼津高専が4回戦に進みました。」の速報が来ないかなあという思いながらテレビにかじりついていた。

今日は妻の実家で法事があるため、今から出かける必要はない。自動車のエンジンをかけると同時にラジオのスイッチを入れるとここでも静岡球場の試合を報じ

ている。1ヵ所ぐらい島田球場の中継をしないものか……。

少し走り出すと待ちに待った速報が入った「島田球場、第2試合、試合終りまして4対3で……。」この時同時に2つのことがひらめいた。1つは、危うく1点差で逃げ切ったか、と言う事と1つは3と言うのがいやにひびくなあ、これが1か2だったら問題ないのだが、今までよく9回に逆転されて負けているからなあという事の2つである。これだけのことが次のラジオの声の間に一瞬に頭の中を駆け回った。「……で浜松が逆転勝ちしました。」

後はしばらく放心状態が続き、頭の中に「沼津高専が負けたんだ。」という認識が広がるにつけ、ムシャクシャした気分と、あーあ、やっぱり伝統が守られてしまったかという実感が出て来た。今年もこれで終ってしまったか……。

ほんの真夏の昼下がりの長くも有り短くもあった夢物語でした。

〒410 沼津市足高294-74 沼津鉄工団地内

随筆「女ヘンの漢字」

M1 田 原 成 人

小生の勤務する武蔵精密には社内報として武蔵ニュースなるものがある。そこに拙文を載せたところ多くの男性からは好評を博したが、どうも女性連から不評であった随筆がある。ここに拙文をも省みず本会誌にも投稿して諸兄の御批判を仰ぐことになった。(実を申せば会誌の編集委員より急な投稿依頼がありこのような次第となったわけである。)

漢字は元来象形・指事から発達した表語文字であると広辞苑に記載されている。形のあるものはそのものの形がかたどられて漢字として現用されていることになる。しかし形のないものの漢字の成り立ちはどうであろうか?探究すればそれなりの解答は得られようが、それは本文の意図するところではない。そこでここでは漢字の意味するところからその成り立ちを推理しようというものである。

特に興味あるのは女偏の漢字である。女という字はもとと手を組み合わせてひざまずいている女の人のさまをうつした象形文字、すなわち手弱女(たおやめ)に通じている。つまり女はもととたおやかなやさしいものであったいやそうなければならないはずである。しかし昔の象形から出発した漢字も時代とともに変化するよう現代では女という漢字は、全く変な感字になってしまっ

たのだろうか?それはさておき漢字に女偏のものは数多いが男偏というものはついぞお目にかからない。辞書を調べると皆無ではないが女偏に較べると数少ない。全くの女性上位である。好きも嫌いも女偏なら嫁も婿も女偏である。姉や妹が女偏なら兄や弟にも男偏がついてよさそうだと思うのは変(ヘン)なのだろうか?それとも女というものはやはり絵(象形から発達して字)になるのだろうか? 前出の好きという字も女の子と書いて好きと読む。好きな道というのは女の子を追うことになるのだろうか?

また若い女の人のことを一般的に娘というが、これは良い女という意味であろう。では悪い女は嬢(ぶすめ)というのだろうか?。したがってむすめさんと言われたら女の人は素直に喜ばなくてははいけないのに、余り嬉しがらないのはなぜだろうか?。女ってヘンだね?全く不可解なものだ。

〒440 愛知県豊橋市大清水町字大清水700-10

わたしとおとうさん

やしろ ちあき

みなさん、こんにちは。わたしのなまえはちあきです。おとうさんのなまえは、やしろたかあき、おかあさんはきょうこといいます。わたしはことしの6がつにうまれたばかりなので、よのなかのことはよくわかりませんが、おとうさんは、まいにちかいしゃというところへいきます。あさはわたしがいちばんはやくおきて、おおきなこえでなくて、おとうさんおかあさんをおこしてあげます。そうすると、ふたりでおきてきて、わたしのおしめをかえてくれたり、ミルクをのましてくれたりします。わたしのあさごはんがすむと、ふたりであさごはんをたべておとうさんはかいしゃへいき、おかあさんはあさごはんのあとかたづけをしながら、おせんたくをします。

わたしは、きげんのいいときは、わたしがじぶんでかかんがえた、たいそうをします。きげんのわるいときは、わざとおおきなこえでなくて、おかあさんをこもらせてやります。ミルクはだいたい3じかんごとに、おしめは1じかんはんに1かいぐらいます。

おかあさんはほとんどいちにちそばにいてくれます。おとうさんは4じにはしごとがおわるのですが、いろいろなりゆうをつけて、まっすぐわたしのところへかえってきてくれません。わたしはくやしいので、4じすぎになると、わざとぐずってやります。わたしはうまれながらにしてちょうのうりよくをもっているの、おとうさ

んがかえってくるのがわかります。だから、そのすこしまえになったら、おとなしくたぬきねいりをしてやります。おとうさんは、かえってくると、わたしのねがおをみて、にこにこします。わたしは、おやっといういきものはかわいいのだと、つくづくおもいます。おとうさんは、わたしにまだ、おみやげをかってきてくれたことがないので、こんど、もうすこしあいきょうをふりまいてあげて、おみやげをかってきてもらうようにします。

ばんごはんも、やっぱり、わたしがいちばん好きです。それまでは、おとうさんもおかあさんもおあづけです。はじめは、おとうさんはただみているだけでしたけれど、さいきんは、だいてミルクをのませてくれます。まだ、あまりじょうずではないので、からだがかきゅうくつだったり、ミルクをのみにくかったりします。

ばんごはんがすむと、わたしはおとうさん、おかあさんのじゃまをしてはわるいので、ねてあげます。ふたりはわたしにきをつけて、ちいさなこえでなにかはなしています。たいていはわたしのことをはなしているようです。そのほかは、わたしにはわかりません。

さいごになりましたけれど、わたしのかおだちをじこしょうかいします。まず、りんかくはふっくらとまっています。おでこはじゅうぶんにおおきく、しょうらい、さいえんとよばれるそしつをいまからみせています。おめめはモジリアコふうで、ばあいによってひとえまふたとふたえをつかいわけます。おはなは、なんともいえないくらいにかわいいです。おくちはちょっとちいさめです。かみはくろく、やわらかです。

しょうらいは、やっぱり、おとうさんのようにやさしいおとこのひとのおよめさんになりたいとおもいます。

〔天の声〕

これは、もう救い様のない、マイホームパパの物語である。玄関の敷居をまたいだら7人の敵がいるという男の世界で仕事をしながら、家庭を平和に導いていくわれらがパパに、男として連帯と激励の拍手を……………送ったほうがいいのか、送らないほうがいいのか、それが問題だ。 M3 谷城高明・娘

〒410-03 沼津市原743

近況報告

あの道

M4 鈴木貞緒

下土狩駅から高専に続くあの道はどのように変わっているだろうか。私があその道を歩きながら夢みていた道も

今私が歩んでいる道と大きく違っている。

静岡大学にて4年間学んだ後、49年に(株)日本製鋼所(JSW)に入社した。JSWは、室蘭、広島、横浜、東京の4製作所、鹿島工場とプロジェクト事業所が日比谷三井ビルにある本店によって総括されている。各種プラント、大型鋳鍛鋼品、高級鋼板、溶接構造物、原子力機器、プラスチック機械、建設機械、省力機械、化学機械など、鋼と機械の総合メーカーである。私は横浜製作所の油圧研究室に配属された。そして、50年に広島に機械研究所が設立されて、油圧研究室はその分室となった。私は主として油圧ポンプ・モータの開発業務に従事している。某農業機械メーカーのコンバインに搭載されている小型油圧トランスミッションの開発チームの一員としても働いてきた。今後も、油圧機器の高性能化、低騒音化、低振動化などについての研究を深めていきたいと思っている。

JSWにおける沼津高専出身者は私とM9の鍬竹貞利君の2名である。鍬竹君は横浜製作所の油圧機械設計課で舶用部門の業務に従事しているが、誠実な勤務態度は好評であり、有能な技術者として活躍している。

あの道にまつわる思い出にはこんなものがある。高専に入学したばかりの頃、雨の中を濡れながら駆けていた私を呼び止めて傘の中に入れてくれた一人の先輩は、それから5年後、浜松の下宿において、何から何までお世話してくれた柳下福蔵先輩であった。また、雨上がりの泥だらけのあの道の向こうからやって来た人を近所の農夫と思って通り過ぎようとして私を、「おい、近頃の学生は教官にあいさつもできないのか。」とどなりつけた安土幸一郎教官が、横浜製作所の高林主計所長と浜松高等工業での同級生であることをつい最近知った。そして、9年前、昨年結婚した妻と二人して初めて歩いたのもあの道であった。

〒236 横浜市金沢区大川日本製鋼所内アパート5-302

私はゆきこ

M6 T. I

まだ赤ちゃんです。おかあさんのおなかの中はあたたかく、静かで、気持ち良く、ずっとはいていたかったのですがお正月になっておなかの外で楽しそうな笑い声が聞こえたので、ちょっと外をのぞいたらうしろから押し出されてしまいました。

朝、おしりのまわりがなまあたたかくなって目がさめます。私は、背伸びしてから、口の中に入れて味見した手で、目のまわりを2回こすって顔を洗います。そうすると、私をおなかから押し出した人が

「おはよう、ゆきちゃん」

と言って、おしりのまわりのあたたかいのを取って別のかえてくれます。私はいつも見る人なので「ニコッ」と笑ってやります。そうすると

「かわいいわね、ゆきちゃん、もう少し寝てね」

と言ってどこかへ行きます。

私は、横を向いてふとんの端をつかんで、

「ウーッ」

朝と夜しか見ないボサボサの頭をした人が、

「おはよう、ゆきちゃん」

私はちょっと「ニコッ」としてやるとその人は、セルロイドのコロコロ音のするお人形を私のおなかの上に乗せてくれます。私はやっと遊んでくれる相手ができました。

頭をボサボサした人は、あっちへ行ったりこっちへ来たりして何やらガサガサやっています。そのうち私に顔を見せ、

「バイバイ、ゆきちゃん、おとなしくしてろよ」

と言ってドサドサと音をさせてどこかに行ってしまう。

やっと静かになりました。私はコロコロと鳴るお人形さんの首のひもを引っばって手の運動をします。

運動のあとはおなかかすきます。でも、私をおなかから押し出した人はどこへ行ったのか見えません。

「ウーッ、ウーッ」

言っても、あのビンに入ったミルク買えません。私は非常サイレンを鳴らします。やっと私を押し出した人が来ました。

「ゆきちゃん、どうしたの、おなかすいたのね」

あたりまえではないですか、自分だけ朝ごはんたべといて!

やっとあのビンに入った白いものが見えました。早く下さい。私、死にそうです。

「さあ、自分でもってのんでね」

あっ、ずるい! ビンくらいもってこれでもいいじゃない。又私に持たすの?! でもいいわ、このほうが自由になるから、あのボサボサ頭の人も言ってます。

「ミルクくらい自分でのみな、生存競争はきびしいんだから」って。

さて、おなかがいっぱいになったら、又、ねむくなってきたわ。しばらくお休みします。

「ねる子はよく育つ! だけどお前は育ちすぎだな」って、ボサボサ頭の人は言います。でも私はデブではありませんからね。レディに向って失礼な!

私をおなかから押し出した人は、私のおしりのまわりのあたたかかったものを、洗たくしているようですね。たいへんですね、赤ちゃんて。

おやすみなさい、おとうさん、おかあさん

石黒由紀子 52・7・27

〒416 富士市森島264

新婚生活

M5 岩瀬 昭

新婚生活の近況を書いてくれとの依頼があいまいではあるが、結婚といったことに対して感じたことも含めて、書いてみる。

諸先輩方には、懐しき、新婚時代を思い出して読んで頂き、後輩諸君には、甘い結婚生活を夢みながら読んでもらえたら幸いである。

昨年十月初めに結婚し、早くも一年が過ぎようとしている今日このごろである。

当時はスタイルの良かった? 妻も今はまるで〇〇。八月末には、家族が一人増えようとしている。結婚して、大きく変わった事と言ったら、どういうわけか(あたりまえだが)、朝起きると隣に一人寝ている女がいることである。独身時代であったなら、これほど嬉しいことはあるまい。しかも金品の請求はない。もっとも月末には、男の一ヶ月の汗の結晶を全て吸いとられてしまうわけだが。また、ホルモンと栄養のバランスがとれた為か卒業当時の五十五キロから十キロもぜい肉がついてしまった。

卒業して早くも六年余り、過半数余りは、所帯持となっているのではなからうか。

立派な事を言うわけではないが、結婚したことによって、自分が大きく成長したという気持である。責任感とか言ったものは、独身時代と較べて、大きな違いがある。断言するつもりはないが、一生独身で過ごす様な人間は、極一部の例外を除いて、精神的又は肉体的に欠陥があると思う。話が少しそれってしまった様だが、もう一つ大きく変わったと感じる事は、金、時間、精神的なこと、その他少なからず拘束されることである。独身時代には、たいてい自由本奔に生きているものであるが、それが〇年〇月〇日に突然変わるのである。このことは人によっては感じないかもしれないが、我家では、週末になると町まで

(約六キロ程)一週間分の食糧を買い出しに出かける。数ヶ月前までは、キュウリ一本の値段も知らなかったのであるが、今は玉子が二百円(十個)を越えたら買わないとか、今日は、あそこのスーパーが安いとか、チラシにも毎日目を通すようになりすっかり所帯じみてしまった。それに、我給料のとぼしさを、つくづくと感じながら、三個百五十円のトマトを横目で見ながら、三本百円のトマトジュースを買って来るのである。

また結婚すると男というものは、どうも横着になるようである。蒲団の上げ下げはもちろんのこと、コーヒーが飲みたいと思えば、少し大きな声を出せばよいし、風呂に入れば、下着を持って来いとか。もともと世の中には、女房の耳の穴の掃除から、パンツの洗濯まで、してやる亭主族もいるらしいが。

いろいろと書いてみたが生活パターンが独身時代とあまり変っていない為か、寮生活から結婚生活に入ったような人に較べて、あまり変わったという気がない。またこの原稿は、妻の目にも触れる可能性もあるので、余りのことも書けない。(いろいろとありまして)従って、実感の50%ぐらいと思って読んでほしい。

〒412 御殿場市印野1442

潜在意識の誘い

M9 佐藤 芳 邦

卒業後、アルバイトに明け暮れた2年間は実に長く思えてなりません。今やっと目的の第一歩が実現出来た訳ですが、一つの欲望を達成すると又一つきびしくなる現実が待っているのです。それでも私の夢が私の潜在意識に最も近いと信じるし、今後とも行動していきたいと強く思っています。どんなささいな選択、決断が自分にとって或いは人間としてどうだったのか判定されると思うんです。私はこの潜在意識の強さ、正確さ、素晴らしさを知り、それを正しく利用すべきだと最近考えます。

オレゴン州へ留学した友、山本健太郎君から「自己の創造性を生かすことは素晴らしいことだ。その時初めて愛もわかるんじゃないか。」などといった便りをもらいましたがよくわかるような気がします。

つい先日バーミンガムの学校への入学が決まり、スイスへ旅行する計画をしています。何かを成し終えた時、どこでもいいんです、近くの公園を歩くだけでも十分なんです。ただ、どんよりした日々の続く大都会ロンドンに住み、都市学、特に現実のどうにもならない問題点ばかり勉強していると、スイスのあのアルプスの鮮明さと

いうものに憧れてしまいます。そして昨年夏逃した中世の美しい都市ベルンにも訪れるつもりです。

本当は旅行記とか、英国での生活といったものを書けば面白かったんですが、次回チャンスがあれば載せて頂きたいと思います。

〒177 東京都練馬区石神井台2-8-3 若尾 莊

スポーツのある人生

M10 平田 善 彦

中学校、高専、社会人と今まで九年半、白い球と付合ってきた。軟球と硬球の違いはあっても、チームメイトの顔が変わっても、やはり野球をやっているということは自分にとってこれ程幸せなことではない。

中学校の大会でも一回戦3対0、高校野球の時も初戦で11対1、高専大会にも一回戦11対1で敗れ公式戦での勝利の喜びというものを楽しむことなく社会人となった。それでも今年、連盟の大会で3回戦まで勝ち残った。グラウンドや応援など、学生時代とは比べものにならないけれど、やっぱり勝つということはいずれのことだ。

しかし、社会人となり自分の仕事を持っている以上、学生時代のように情熱的にスポーツに打ち込むということは非常に困難である。だけど、どんな形でもいいと思う。スポーツと接する時間を持つということは人間にとって大切なことではないだろうか。

一度社会に出てしまうと、スポーツとは縁遠くなりがちの人が多く中で、短い時間ではあるけれども、スポーツを楽しむことが出来るだけでも人より幸せなのだと思う。

年齢の増加とともに、足腰が最初におとろえてくるといわれている。そういうことのためにも、毎日少しずつでもいい、スポーツを楽しむ時間というものをつつでも持ち続けて行きたい。

〒410 沼津市中沢田390の2

社会に出た1年目を考える

M11 中村 栄 治

学生という部屋を飛び出し、社会という無限に広い部屋をノックした。

今、ドアを開け、真っ暗な所を手さぐりし始める。

ドアが音をたてながら、閉じて行く。今なら後ずさりしてこの部屋から逃げられる。そんな言葉が心の中を走る。一方、逃げてはいけない、そんなことではいつまでたっても自立心は持てない、とも思う。

何処に何があり、何が居るのが全然わからない。何かにつまづいてころぶかもしれない。

壁にぶつかってそれ以上進めなくなるかもしれない。また、何かをつかんで手を切るかもしれない。しかしそれを一つ一つを乗り越え、苦痛にがまんし、いつかきつといい事があると信じて進んで行きたい。

そんな中で一番不安なのは自分を見失ってしまうことである。

一歩進んでは自分で自分をさぐりし、自分の姿をたしかめることができたなら、また一歩進む。そんなことを続けながら部屋の中を歩き回りたい。

この部屋を出る時、この部屋の全てを理解し、この部屋に入ったことを後悔しないようにしたい。

明日は何が起こるだろうか。

不安と希望を心にしまい、今日の自分をたしかめながら、足を一歩を出そうとする。

この一歩が明日の自分をどのように変えるだろうか。

〒410 沼津市今沢165 今沢 寮

理工的発想方法

E1 後藤 元 臣

思考に幅が無いせいか、理工系の学校を卒した人の物の見方に、なぜか共通性を見出している。

「思考の幅」などという仮定を持ち出すのは、私自身が、そういった共通性に、通り一遍以上の共感を感じるからに他ならない。

果して、理工系以外の人達も、その各々の分野での、物の見方として、連帯できる共通性を感じているのだろうか？

業務の関係もあって、付き合いの範囲が限定され、友人、先輩は理工系の人ばかりである。

先日も、ある気の置けない会合で、その種の共感というものを痛切に感じた。

ある電機会社に勤務するA君によると「世界の人口増加がこのままで進めば、たかだか20年以内に、人類が滅亡するくらいの食糧不足が生じる」というのである。

彼は、比較的判り易い数値を引き合いに出し、農産物とか、水産資源といったエネルギー源が、絶対的に不足し、それこそ、何億人という人々が餓死する筈だ、とい

う結論を導き出した。

初めは面白気に聞き入っていた10数名が、しまいには口角泡を飛ばす、大討論会とあい成った。

皆の意見が出つくした所で、この会合の大先輩格に当るB氏が曰く「戦後の食糧不足の時でも餓死者は、かぞえるほどだった。確か食糧関係の役所の試算では日本人全体の半分は餓死する筈だったんだが……。」と、いう話が出てきた。

当然のことながら、その種の計算の手法としては、人間一人当りの必須カロリーで、全取獲物のカロリー源を割り算して、生き残れる人口をはじき出したらしい。

親達も、自分の子供達の為に寝食を忘れ、自分の食べる分まで子供達に分け与えることなど計算には入っていない。

人の子の親となって、初めて納得のできる計算ミスではあった。A君の説く、一見判り易く、理論に添った計算に、かくいう誤算は無いものかどうか？

現に、世界的な視野で物を見るなら、飢餓の部分もある半面、毎日の如く、かなりの浪費、明確な無駄が繰り返されている部分もある。

その比率のほどは、定かでは無いが、世界がそうして成り立っている以上、これらのバランスの上に、万遍なく食糧がゆき渡ることこそ、理想ではあるまいか。

工業生産のみならず、農業、水産業といった、第一次産業分野にも、技術革新は及び、現在、全く生産に貢献していない部分の改善、改良も進められる筈であり、決して悲観的な現象とは言えないのではないか？

逆に、そういう面から、地球の非貢献部分と人類の智慧を再考した時、多くの人々は、むしろ楽観的な結論に至って、話に取捨をつけたものでした。読者諸賢は、いかがお考えか？

環境破壊と公害問題、エネルギー問題、生活の合理化etc.どこをつついてもテクノロジーが顔を出す話題で終始したその会合に、間違っても教育問題が話題になる雰囲気はありませんでした。

この会合の参加者も、教育問題が重要で無いと認識しているわけでは無く、実際に、行動に移せる部分が漠然としているだけに、真正面から、云々するだけの関心が湧かないものと思えます。概して、理工系の人の方が夢を持ち、ロマンを追う傾向として映るのも、その追っている内容が、かなり明確だからに他なりません。

200海里時代に突入した漁業を例に挙げても「獲る漁業から養う漁業へ」とか「効果的、効率的な養殖技術」について、などというテクノロジーを介して見たアプローチはする一方、「ソビエトとの漁業交渉について」などという物の見方は、しないわけです。

一般的には、方法的なアプローチと称するものが、電機製品にせよ、自動車にせよ、高い関税障壁と、公害規制もものかわ、十分に採算に合う、生産を可能にしようとする実際の行動の上に成り立っているわけです。

話が脇道に外れて恐縮ですが、現在繊維産業は、業績的に苦境にあります。購買意識の低下と安価の輸入品による圧迫をまともに受けた結果でしょうが、これとても予測できないことでは無かったです。今を去る10年ほど前、東南アジア諸国への繊維のプラント輸出は、異常なほどでした。これらのプラントが稼働を開始すれば、あとは、工賃の差だけが、コストの差です。

戦後の米国と日本の関係を引合に出すまでも無く、この10年間の東南アジア諸国の抬頭が既に日本業界を震撼せしめるに十分な力を貯えていたのです。

プラントの輸出で利益を計上した反面、現在に至ってずっと広範な繊維業界が痛手を被っているというのが実態でしょう。

ここまで言い進めて来て、理工系の人は、特に「不得意な所は避けて通りたい。」ような願望が強いのではありますまいか？そして、それが、もし全日本人に共通の特質であったと仮定するならば、何とも問題です。

解決は永久にできないかのような、幾多の問題を抱えつつも、生活の程度は日を追って向上し、その内容は便利になっています。中産階級願望の思想に支えられた、中流を夢みる、日本人の90%が、月々何万台と造られるルームクーラーを購入し、又、自動車を購入する。夏は海へ走り、冬はスキーで滑る画一化されたレジャーにうつつを抜かす現在、他人とは、違う視点で、社会と自分を注視できるようになって初めて、物価高、住宅難、公害についての決め手を見つけ出せるのではありますまいか？

日本楽器製造(株)ステレオ事業部 技術部勤務

近況報告

E2 鈴木秀幸

早や卒業から10年近く過ぎ同窓生諸氏との連絡も疎になりがちですので本誌を借りて近況を報告したく筆を取りました。

小生卒業後超音波の面白さ：即ち電気—機械振動—音響の3つの分野に広がりかつ有機的に結合しており、音響系では波としての性質もあるのでその振舞は面白い：に魅せられて昨年の秋には独立をし現在超音波応用機器の開発、製造を営んでいます。超音波の応用分野は広く一概には述べられないが大別して動力的応用、信号的応

用となる。前者には洗浄機、加工機、熔着機等があり後者は診断機、ソナー、魚探、探傷機その他プロセス計測器等がある。信号的応用の中で超音波振動子が高いQを持っているため振動レスポンスは良好でないという問題がある。私共の現在開発を行っている中に感度を大巾に変えず振動レスポンスの向上が得られる方式を開発し高いQの問題を解決した。この事は今まで困難又は開発されていない分野での超音波利用が考えられるので今後学会への発表等を含み新しい分野でのアプリケーションに力を注いでゆく予定です。以上の様に超音波の面白さに更に魅せられている最近です。

浜松市和田町529-1

我が道を変えて

E2 藤井昭

卒業して、はや十年目。現在中学校の教員となり地元にもどっている。高専で「優秀な技術者となって世の期待に応えよ」との教育を受けた。そして自分の望む企業に就職した。残業をやったりして自分なりにできる限りの力を注いだ。確かに電算機のメモリーなどの試験器等の技術は大学卒と見劣りするものでなかった。しかしどうも話をするなどの場で弱い。何か筋が一本足りないような感じがした。そんなものを何か勉強して身につけたいなと思った。東京都立大の、しかも物理学科に入学した。熱心に聴講したのは哲学関係や経済関係だった。

仕事の方も残業百五十時間を続けたこともあった。しかし何か仕事に対する情熱が失なわれていった。確かにラインの仕事ではない、一品毎にちがったものを自分の力で考え、外注し、調整し、現場に入れた。しかし何かまだ不満である。何か足りない感じがする。「教員？」私を知る者は驚きの感がするであろう。自分は「機械」よりも「人間」を選んだ。一年坊主を相手に毎日変化のある生活を送っている。意義ある毎日である。人にはいろいろな道がある。がんばっていこう。

〒411 駿東郡長泉町下土狩972-11



「結婚しました」

E5 秋元信雄

結婚するなら絶対に恋愛結婚だと心に決めていた私でしたが、どういふわけかそれに反して、初めてののお見合いであっけなく片が付いてしまいました。

私のベターハーフを紹介しますと、年の頃は22才で、私より4~5才年下であります。出身が同じ静岡県で、駿東郡小山町ですので私の実家の沼津に比較的近いため帰郷する時は、いっしょに寄ってこれます。そういった点では非常に気が楽です。

結婚式は、今年の三月中旬のため前々から行きたいと思っていた北海道をあきらめ、南国の光かがやく沖縄へ行ってきました。

実のところこの旅行は、式当日のものがすでに予約でいっぱいでもう取れなかったため、京都に二泊してから出かけるという事になり、合わせて7泊8日の旅となってしまいました。沖縄では、本島の戦跡めぐり、海の青さのすばらしい石垣島、それに竹富島、西表島と島々を飛び回ってきました。

新居は鉄筋の2DKの社宅ですが、まだ2人だけですのでまあまあ広さです。場所は東武伊勢崎線の梅島駅から歩いて7分ぐらいの所にあり、浅草へ出るのには非常に便利です。先週の土曜日も、ほうづき市に2人で遊びに行き、ほうづきと風りんを買ってきました。浅草にはまだまだ江戸の風情が残っており、とても気に入っています。

日曜日には、近くの名所、旧跡等を見て歩き、今まで独身時代の山ばかり歩いていたのとは違った楽しさを見出ししています。東京には探せば、四季折々に花が咲き乱れるすばらしい公園がいろいろあり、左手にカメラを右手には彼女の手をしっかりと握り、ここぞと思う場所にくると三脚を揃えて、パチリ、パチリとやっています。

写真ができてきたからでも楽しいもので、これは良く撮れた、こいつは露出オーバーだ、などと言いながら2人でアルバムに整理しています。新婚旅行の写真も同じように、パンフレットから航空券までいっしょにベタベタ貼りつけて、アルバムで2冊ほどになりました。後でこのアルバムを開くと、旅の楽しさが思い出され、また旅行がしたくなつたなんて話し合っています。

そんなわけで、6月の末に2日間ほど休暇をもらい、土、日と合わせて3泊4日で北海道へ行ってきました。限られた日数でしたので、道南方面だけをレンタカーで、すっ飛ばしてきました。初めての北海道であった事

とその広さにちょっとはしゃぎ過ぎて、スピードオーバーで見事ねずみ取りに引っかかり、貴重な金八千円也を国家に寄附するというハプニングもありましたが、今考えるとなかなか良い思い出となっています。

どうもこんな調子でやっているものですから、最近では財政が苦しくなり四苦八苦です。

結婚してから、旅行の他に特筆すべき事がもう一つあります。それは独身時代いくらどんなに努力しても体重が変わらなかったのに、結婚したとたん5キロも太ってしまった事です。おかげで肥満度が、マイナス12パーセントであったものが、マイナス3パーセントと理想的なものとなり我ながらびっくりしている次第です。もっとも家に帰ったとたん「おいビール」なんて言って、たらふく飯を食い、テレビでも見ながらゴロゴロしていたらそうならざるを得ないでしょうが。

それでは、あまり書くと長くなりますのでこころへんで、また近くにおいでの際はぜひお立寄り下さい。

〒123 足立区梅田7-19-824

「結婚しましょう」

E4 ある妻帯者より

結婚したらどんな変化がおこるか、これから結婚する人の為に多少でも参考になるかと思って書いてみました。

まず結婚したからと言って太陽が西から昇ることにはならなかったが、多少の変化があった。(太陽が黄色く見えることもなかったが……)以下ここに述べることは私の場合であって、すべての人がこの状態になるとは思わないでほしい。

私の場合について述べると、まず大別して精神的変化と物質的变化について変化した内容を分析してみることにした。

まず精神的変化について述べると、神様は何故男と女を作ったかが理解できた。すなわちこの女の為に生きようとする勇気と希望を与えてくれた。もっと別な言葉で言うと妻の笑顔を見ることが私に限りない力と勇気を与えてくれた。しかし私自身としてはもっと多くの力と勇気を与えてくれる人を求めようと思っているが、結婚後近くにいる女性は私に対して力と勇気を与えてくれるのを拒んでくるようになったことはひじょうに残念であると思っている。

次に物質的变化について述べるとまず第一に大きな変化は、財務体制が変わったということである。すなわち血と涙で得たわずかな報酬の大部分が力と勇気を与えてく

れた代償として搾取されてしまうことです。この状態は娘が生まれた現在いっそうひどくなってきている。

次に第二であるが体がひじょうに健康になったということである。なぜならば規則正しい毎日がおくれるということなのです。

朝は優しい声で起こしてくれ、温かいみそ汁と目玉焼、昼は心のこもったお弁当は精力のつくスタミナ食で疲れた体を補ってくれるので現在の私は体重もふえ健康そのものです。

以上簡単に結婚前と後の比較を行ってみたが要は私と同じような幸福を結婚していない人に分けてやりたいと思っている今日このごろです。

社会 第一歩

E11 小林 亘

私が入社してもう4ヶ月が過ぎたのですが、一番強く感じていることがあります。「会社とは、怠けようと思えばいくらでも怠けられる。努力しようと思えばいくらでも努力はできる。そして、それはすべて、自分に跳ね返ってくる。」ということです。簡単に、学校にも社会全体にも、言えることですが、入社して、これほど、現実をとらえているものは他にはありません。しかしながら努力というのは、ただ、がむしゃらにやればよいとは思いません。それには三つの事が必要です。まず、正確さに、迅速さ、そして、スマートさ、これらすべてを、マスターできれば一流の会社員として、通用できると思います。私は、新入社員ですので、今のところ正確さをマスターしなければなりません。その正確さとは、原因と理由を、はっきりさせるところにあると思います。だから、先輩に言われたところで、わからないところがあれば、はっきり聞いて、決して生半可な返事をしないことです。そして、復唱することでもあるのです。

会社とは、シビアなものです。やる気のない奴は、どんどん置いていきます。学生時代のように追試というようなものはありません。それだけ厳しいところなのです。私も、お金を儲けるプロとして、精一杯頑張りたいと思っています。

入社して、まだ日の浅い私でさえ、感じられることでした。

最後に、入社までには、諸先生方にも、色々とお苦勞をかけたのですが、その苦勞を水の泡にしないように、努めております。御安心ください。

〒410 沼津市東熊堂695-7

近況報告

C1 杉本 隆一

早、沼津高専を卒業し、三菱化成に入社後研究所に配属され7年目となりました。

私も結婚し、1才になる娘を持つ父親になっています。

さて、近況を報告しろということなので、仕事、遊びの話をご二三日しようと思います。研究所は、横浜の広穂地帯にあり、港横浜のネオン街から遠く離れた田舎にあり最近までキジやタヌキが所内に出没する様な所です。

会社には、後輩が、C2の小林、山口、C5、田代、円山、垣野(日本錬水社で研究室が同じ)います。山口は、今年の5月に鹿島の波崎という所に転勤となりADD(ビルの製造)の工業化に務めています。その他の4人は、研究所に現在も在席中です。又、田代、垣野は、私と同じ部に属しています。

仕事は、入社以来、水処理関係の研究を7年間行なってきました。簡単に水処理といっても、用水処理から廃水処理まで色々ありますが、入社から半分は、イオン交換樹脂ゲイヤイオンの新規用途研究、技術サービスの研究、後の半分は、凝集処理、活性炭処理等の廃水処理の研究をしてきました。現在の仕事は近年、水事情の悪化により廃水の再利用が叫ばれていますが、その一つとして熱水により再生可能な新規熱再生型イオン交換樹脂サイロサーム樹脂を用いた脱塩プロセスの開発に務めています。

仕事の話ばかりでは、息も詰りますのでヨットの話しでもしましょう。私がヨットを始めたきっかけは、入社して2ヶ月、水島工場の実習も終り、研究所に配属され、そろそろホームシックになりかけた頃、先輩に会社のヨットに乗せていただいたからです。ヨットを初めた頃は、私はオリンピックの日本代表かと張り切ったのですが、現在は、海とヨットを楽しむ此頃です。特に、幸運にも我ヨット班は、外洋ヨットを持ち、年1度1週間位のクルージングを楽しんでいます。今まで寄港した所は、大島、箱根、伊東、稲取などがあります。目標としては、八丈島にまで行くことです。クルージングの楽しみとは、1日中海の上において、2~3mの波や風、鏡の様に静かな海と変化する海を見ることが出来ることです。特に、夜怪しく光る夜光虫など魅力の一つです。こう書くと、楽しいことばかりと思われるでしょうが、陽が沈み、黒い海ばかり見つめている時や、海が荒れ悪戦苦闘している時など不安が募るばかりで、早く陸にあがりたく願

うばかりです。

くだらない話を長々としましたが最後に、一言、仕事も遊びも、悩んでみるよりも、思い切り努力してみることです。一度の人生ですので楽しく(ほとんど楽しいことはないですけど)生きてみようではないでしょうか。そうすれば、おのずと何か得られることがあるのではありませんか。これが私の人生感です。

〒194 東京都町田市南大谷1370-10

大阪はアツアツだった

C3 岩崎 直人

日中気温が30℃をこす暑い日を真夏日というそうであるが、東京では45日、伊豆大島では5日、軽井沢では4日であるのに対し、大阪では67日もあるといわれ実感としてやはり予想外に暑い。

この大阪にきてはや5年目をむかえ慣れぬ暮らしも今ではそう異和感を感じないこのごろである。(大阪弁は別であるが)大阪弁というと“河内のオッサンの唄”でそのアクの強さが話題になってしまったが大阪人にいわせると本当ではないらしい。本来船場の商人仲間の間で長いこと常用されてきた落ちつきのある言葉だという。その船場の付近も高速道路下に追いやられその面影は大阪人でも見知らず通りすぎてしまうまでになっている。大阪が大阪らしさを取戻すのは不可能なのだろうか。仕事場が大阪城の前にある為よく出かけるが晩春の梅、それに続く桜、秋のいちじょう、実に見事な自然の力である。残念な事にその緑も耐え続けるのに可愛想な位の時もある。ここ数年、環境は上向いてはいるという。名もない花をとともに喜んでいる。

〒565 大阪府吹田市竹見台4-50-1

(注)

今回は寝屋川駅から歩いて15分程度の府職員住宅2DKで愛の巣を営む新婚の岩崎君の所を訪問しました。奥方は佳津江さん?とかいいまして実にチャーミングでよく気が付く方でしたが、一方岩崎ときたら……だらしないのであります。彼女は高専生で知らぬ人のないあの「キミサワ」につとめておられまして彼は毎日100円くらいものを買いに足繁くかよいつめ、卒業の時分からようやく言葉をかわしはじめ、今ではお腹に二世を宿しております。

諸君何事も努力の積み重ねなしには成功(失敗)も得られないのであります。

新理事歓迎

ソフトボール大会

E5 小川 吉晴

夜明け前に降った雨のためか、30度を越える暑い日が続く中であって、8月7日はさわやかな野球日和であった。この日、母校グラウンドにおいて新理事歓迎ソフトボール大会が行なわれた。新理事の10期平田君、11期真野君、渡辺君それに白井、木ノ内、島村、伊達、久保田、神山、筒井が参加し、総勢11名が2チームに分かれ高校野球なみの熱戦が繰り広げられた。

試合内容といえなかなかなもので、ダブルプレーが3つもあり(人間老化は足からというがほんとうらしい)ボールが4つ続くとワン・スリーという新ルールのためもあって無四球試合であった。しかしメンバーがメンバーだけに珍プレーが続出し、例えばセンター前ヒットで一塁ランナーとセンターが競走しセカンドでアウト(ランナーは某一期生)、また一塁ベース近くのファウルフライをピッチャーとセカンドが必死に追いかけたが結局ファウル、しかし一塁手はベースの上にそのまま(これだから相手チームから借りた野手は信用できない)等々、球史に残る一戦となった。それにしても新理事の元気の良い事と云ったら、守ってはヒット性の打球(打った本人はそう思っている)をことごとくアウトにし、打ってはサイクルヒットありホームランありの大活躍で、老兵たちを疲労困憊させた。

参加者が少なかったのは残念であったが、久しぶりに汗を流し、さわやかな気持ちでピヤホールでの反省会へ行くことができた。

〒410 沼津市大岡2646の1



慶弔報告

飯田君の死に寄せて

C1 滝口 栄 二

昭和51年10月4日、飯田栄治没す、という突然の悲報に、一瞬我を忘れ、一種の虚脱感に陥った。そして脳裏には、彼と一緒に過ごしたほんのわずかな青春が前後しながら鮮やかになつかしさをこめて去来してきた。

それから約一年、この同窓会誌に彼の追悼文を載せるに当り、彼の短かくはあったが精一杯生きその燃焼しつゝした一生を僕自身という一つの物体を通して語ってみたいと思う。

彼との出会いは勿論高専時代のことでありいわば学友であったが、いつ頃から彼との直接的なつながりが出て来たかは定かでない。ただ彼の学生時代は、学生特有の社会組織の中で自分の位置が明確でない状態から発すると思っているが、学生とは、愛とは、人生とはと言った問題に対し常に真剣に考えていたようであるし、又同時に勉学にもかなり励み、スポーツは剣道を通し、趣味としてはクラシックを好み、それらを実践しながら学生時代を謳歌していたように思われる。いわば性格的には、実直であり努力家又探究心が旺盛という形で表現できるかも知れない。そんな中で特に深いつながりが出て来たのは彼の将来を決めていったと同時に僕自身の将来をでもあるが、卒研という一つの研究テーマを通し、考え方、進め方及びその結果に対する考察に対して、種々の議論を交わしながら深まっていったようである。但し彼は化学工学、僕は高分子であったが、ただいつも彼には圧倒されがちであったのはしゃくの種であった。その点彼は既に技術者としての素養を備えていたようであり、もう既に学生の純朴さで見た工業化社会をある程度漠然としてではあるがとらえており、そんな中で自分自身の将来の姿を三興製作所に託していったようである。

そして入社後、この5年近く（僕にとっては6年）ではあるが、技術部化工機課に籍を置き、自分自身の会社の中での位置付けが明確になるにつれ、自分はどうあるべきかを常に考えるようになったし、又、それなりの努力をも果してきたと思う。そして技術屋らしく彼も多くを失敗し、その中で新しく物を開発しつつ、又、多くの同僚を得、彼自身酒の味もどうやらわかりかけてきた様であり、自分自身の将来設計も同時に描けるようになって

おり、近い将来独立し、設計事務所を開きたいと口走るようになってきた。又、我々も青春時代の真只中におり、恋愛についても、かなり話題の中心を成してきたのも事実である。その時の彼の話は一種独特の雰囲気をかもし出していた。彼の将来がある程度具体化しつつあったこの時期、突然に病魔に襲われ、3ヶ月の入院生活を経て御両親の暖かい看病にもかかわらず、ただか25才という年令で人生の幕を閉じてしまったのである。さらに生きようとする精神とは裏腹に肉体が……。

彼の告別式にあたり御両親、兄弟、恩師村松、川松両教授、学友及び同僚の人達の深い悲しみの中で、彼が手紙にも書いてあった様に、

「清水の病院の窓外からの風は冷たく
膚にしみいる。

但し、この10月には治ると思う。

その日が早く来る事を……。」

との様に、彼自身、死期が迫っている事を予期もしていなかっただろうし、闘病生活を通し、新しい将来設計を描いていたのではなかっただろうかという気がしてならなかった。自分自身、この原稿を書くに当り、時がその時点で止まっていて、さらに、その継続した時が来るのではないかという気がしてならない。

飯田よ、安らかに眠れ。

我々は生きなければならない。その時を踏まえ、新しい時間に向かって。

〒189 東京都東村山市恩多町2-29-1

水野考英君の冥福を祈って

M11 真野 秀 人

4月30日夕方、気田川に車ごと転落して、水野が死にました。

我々11期生にとって、初めての給与をもらい、初めての連休でした。

たのしいはずの連休が、水野の死により、大変悲しく、また大変寂しいものになってしまいました。

生前の水野の事は、11期生のだれに聞いても、きっと同じ答が帰ってくるでしょう。大変友達を大事にしていた事、そして、何といっても明るかった事です。今だに笑顔だけが頭に浮びます。

水野の死は、我々にとって大変寂しいことですが、我々がこれから全力を尽して頑張る事が、水野に対する最大の供養だと思います。

〒410 沼津市岡一色504-1

告 知 板



名簿担当理事

今年度の名簿担当理事は下記の通り決定しました。勤務先・現住所に変更のあった時には必ず御連絡下さるようお願い致します。

M1	伊達 忠 昭	自 宅 勤務先	〒419-01 田方郡函南町塚本445 コータキ(株)成形機械部	☎05597-8-2769 ☎0559-86-5360	
M1	島 村 俊	自 宅 勤務先	〒410 沼津市足高294-74 沼津鉄工団地内 (株)明電舎沼津事業所機器事業部生技課	☎0559-22-7791 ☎0559-21-5111	内線562~4
M1	跡部 恵 一 朗	自 宅 勤務先	〒410 沼津市大岡南小林3319-1 (株)電業社機械製作所第2設計課	☎0559-21-1081 ☎0559-75-8221	内線254
M2	武田 裕 久	自 宅 勤務先	〒412 御殿場市二枚橋100-10 (株)電業社機械製作所第1設計課	☎0550-3-6312 ☎0559-75-8221	内254
M3	谷 城 高 明	自 宅 勤務先	〒410-03 沼津市原743 (株)電業社機械製作所設計4課	☎0559-66-4761 ☎0559-75-8221	
M4	風間 隆 太 郎	自 宅 勤務先	〒410 沼津市東沢田861-2 三菱アルミニウム	☎0559-21-8261 ☎05599-2-1211	
M5	鞠 子 誠	自 宅 勤務先	〒412 御殿場市中山544 (株)東芝機械化工機生産技術課	☎0550-7-1046 ☎0559-21-5240	内線301
M5	堀 井 常 雄	寮 勤務先	〒410 沼津市今沢165 (株)昌和製作所生産三課	☎0559-66-4980 ☎0559-66-6111	
M6	筒 井 正 文	自 宅 勤務先	〒419-01 田方郡函南町肥田 東洋金型(株)	☎05597-8-2298 ☎0559-22-1543	
M7	杉 山 高 一	自 宅 勤務先	〒410-11 裾野市佐野931 国産電機(株)原料課設計係	☎05599-2-3293 ☎0559-21-5930	内線293
M7	間 野 賢 司	自 宅 勤務先	〒410-24 田方郡修善寺町修善寺627-1 (株)電業社第2設計課	☎0558-72-3786 ☎0559-75-8221	内線253
M8	近 藤 博 明	自 宅 勤務先	〒410-2 沼津市千本港町14 東洋電産開発室	☎0559-63-7134 ☎0559-63-4567	
M8	長 倉 雅 秋	自 宅 勤務先	〒410 沼津市西間門401 (株)明電舎沼津事業所複合装置部	☎0559-51-0449 ☎0559-21-5111	内線613
M9	小 林 勝	自 宅 勤務先	〒410 沼津市岡一色519-2 不二精機製造所(株)製造部設計課	☎0559-21-3556 ☎0559-86-2480	
M9	芹 沢 芳 正	自 宅 勤務先	〒410-11 裾野市茶畑322 国産電機(株)電装設計一課	☎05599-2-0884 ☎0559-21-5930	
M10	稲 村 正 則	自 宅 勤務先	〒410 沼津市大平567 (株)エイエイビー生産部焼付課	☎0559-31-2733 ☎05597-8-5710	
M10	原 祐 輔	自 宅 勤務先	〒410 沼津市旭町27-3 トヨタオート静岡 整備課	☎0559-63-9389 ☎0559-62-9511	
M11	中 村 栄 治	自 宅 勤務先	〒430 浜松市寺島町15 (株)昌和製作所	☎0534-54-7194 ☎今沢寮66-4980	

M11	真野 秀人	自宅勤務先	〒410 沼津市岡一色504-1 ㈱コイケゴム生産技術課	☎0559-21-5055 ☎0559-31-7181
E 1	鈴木 恒男	自宅勤務先	〒410 沼津市下香貫島郷2667-1 コータキ㈱制御機器部	☎0559-31-0282 ☎0559-86-5360
E 2	神山 始佳	自宅勤務先	〒410 沼津市大岡1005-11 藤倉電線㈱施設課	☎0559-51-5473 ☎0559-21-3111 内線423
E 3	小池 洋三	自宅勤務先	〒410 沼津市八幡町13 ㈱明電舎沼津事業所複合装置設計課	☎0559-62-3496 ☎0559-21-5111 内線605
E 4	高橋 徹	自宅勤務先	〒410-24 田方郡修善寺町283-1 ㈱明電舎沼津事業所プラント事業部発変電設計課	☎0558-72-1179 ☎0559-21-5111 内線618
E 5	小川 吉晴	自宅勤務先	〒410 沼津市大岡上石田2646-1 ㈱明電舎変圧器工場技術一課	☎0559-21-5887 ☎0559-21-5111 内線312
E 5	水上 重徳	自宅勤務先	〒421-33 庵原郡富士川町岩淵207 東芝機械㈱電装課	☎0545-86-0162 ☎0559-21-5240 内線358
E 6	大城 清	自宅勤務先	〒410-22 田方郡伊豆長岡町小坂918-2 大東製機㈱	☎05594-8-2885 ☎0559-71-2520
E 7	島本 豊	自宅勤務先	〒424-02 清水市興津本町234 藤沢薬品㈱	☎0543-69-1762 ☎0545-52-3680
E 8	長谷川 親正	自宅勤務先	〒411 駿東郡清水町新宿269 ㈱明電舎	☎0559-75-2072 ☎0559-21-5111
E 9	大沼 義和	自宅勤務先	〒411 駿東郡長泉町竹原167-1 明電舎㈱	☎0559-71-9330 ☎0559-21-5111
E 9	諏訪部 豊	自宅勤務先	〒410 沼津市井出117-8 沖海洋エレクトロニクス	☎0559-66-3041 ☎0559-23-2381
E10	芹沢 智志	自宅勤務先	〒420 静岡市平和町103-4 ㈱明電舎	☎0542-71-7645 ☎0559-21-5111
E10	大須賀 顕二	自宅勤務先	〒410 沼津市大岡586-25 青葉寮 富士ロビン㈱生産管理部生産技術課	☎0559-63-1111
E11	小林 亘	自宅勤務先	〒410 沼津市東熊堂695-7 ㈱東芝機械	☎0559-21-8171
E11	杉山 康延	自宅勤務先	〒410-03 沼津市井出1192 ㈱東洋電産	☎0559-66-2465
C 1	大沢 幸一	自宅勤務先	〒410-12 裾野市須山38-2 トヨタ自動車工業㈱	☎05599-8-0022 ☎05599-7-2121 内線633
C 2	中村 誠一	自宅勤務先	〒410 沼津市大岡3873 特種製紙総合技術研究所	☎0559-21-6988 ☎0559-86-1131 内線286
C 3	納谷 修	自宅勤務先	〒417 富士市伝法2-2507-2 三島製紙㈱製造部	☎0545-51-0308 ☎0545-52-4060
C 4	山田 久義	自宅勤務先	〒410-21 田方郡韭山町内中154 東洋醸造㈱	☎05594-8-3809 ☎0558-76-2111 内線364
C 5	塩川 広	自宅勤務先	〒411 沼津市下香貫柿原2842 東洋醸造㈱薬品検査課	☎0559-31-9223 ☎0558-76-2111 内線316
C 6	武 保彦	自宅勤務先	〒412 御殿場市二枚橋138 光洋産業㈱	☎0550-2-2573 ☎0559-51-3153
C 6	渡辺 雅樹	自宅勤務先	〒412 御殿場市中山508-1 図書印刷	☎0550-7-0291
C 7	谷口 栄一	自宅勤務先	〒410 沼津市今沢165 ㈱光洋産業	☎0559-66-4980
C 7	渡辺 郁夫	自宅勤務先	〒410-11 裾野市佐野1228-5 ㈱コイケゴム	☎05599-2-3897

次号原稿 募集中

●テーマ 「自分が高専卒である
ことについてどう思うか」

●締切 53年5月30日

●宛先 〒410 沼津市大岡3600
沼津工業高等専門学校内
沼津高専同窓会

同窓会名簿の御案内

昨年度の同窓会の事業として同窓会名簿の発行を行いました。現在もかなりの部数が残っています。まだ入手されていない方には、一冊1,000円（送料込）で発送致しますので、事務局宛御申し込み下さい。

編 集 後 記

会誌もすでに7号となりました。今回はスタートが遅れ会誌発行が危ぶまれましたが、教職員及び同窓生の方々の御協力により、発行中止ということだけは免れたとほっとしています。

今号では会員諸氏の身近な生活についての特集としました。一部に週刊誌的だという批判もあったのですが、同窓生の「人からのよい」一面を感じていただけたと思います。次回は「自分が高専卒であることについてどう思うか」をテーマとして取り上げるつもりですので、ど

しどし投稿して下さる様をお願いします。

なお、会誌あるいは同窓会についての御意見がありましたら事務局まで御一報下さい。

編集委員長 E5 小川 吉晴

編集委員 M1 島村 俊

M6 筒井正文

C1 中村 誠一

M9 小林 勝

M11 真野 秀人

おわび

同窓会名簿を申し込まれたにもかかわらず、事務手続きの不備から、未だ名簿がお手元に届かない会員の方がいると思いますが、早急に処理、発送いたしますので、もうしばらくお待ちください。

また、既に終身会費納入済にもかかわらず今回、会誌発送用封筒に「終身会費未納」とありましたら、お許しください。尚、その旨同窓会事務局まで御一報くだされば幸いです。

同窓会誌 第7号

昭和52年9月25日 発行

発行責任者 白井 一夫
発行者 沼津工業高等専門学校同窓会
〒410 沼津市大岡3600
TEL <0559> 21-2700
郵便振替口座 東京2-102151

印刷所 ジャパンコミュニケーション
〒410 沼津市東熊堂650
マルトモ V S 3 F
TEL <0559> 23-0123